

☆クリスマスリースを作ろう☆

市民ボランティア「森の仲間たち」の主催により、松ぼっくりなどの自然素材を使って手作りします。



日時 12月11日(日) 12:45~整理券配布 / 13:00~製作開始
※先着40個、要整理券(券がなくなり次第受付終了)
場所 里のいきもの館 レクチャールームにて
参加費 1個500円 (別途要入園料)

~千支「トリ」の企画展~ とりてん

「2017年はトリ年！」
そこで、「トリ」について楽しみながら知っていただく企画展を開催。飼育スタッフ手作りのトリ型マントで、年賀状用や来園記念として写真が撮れる「記念撮影コーナー」や「トリ」についての学習コーナーを設置する。

- 開催日時：第1部 12月1日(木)~2月27日(月)
※期間中の毎週火曜日、12月30日~1日1日は休園
第2部 2017年1月2日(月・休)~2月27日(月)
※1月2日(月・休)・3日(火)は、10:00~17:00 開園
- 場所：到津の森公園 管理センター2階ロビー
- 展示内容：

第1部 記念撮影コーナーの設置

千支のトリにあわせて、3種類程度のトリ形のマントを設置する。

第2部 パネル解説、ハンズオン、学習コーナーの設置

卵、羽、嘴(くちばし)、骨、目、足などのトリ特有の形態を紹介する。

詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 12月号 2016年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」16年12月1日発行 通巻166号

到津の森のクリスマスフェア

フェア期間中は、園内にクリスマス音楽が流れ、クリスマスリースなどのデコレーションが園内各所に登場します。動物たちにケーキのプレゼントなど、季節ならではのイベントも下記のとおり開催します。

12月1日(木)~25日(日)

※フェア期間中の火曜日は休園

☆動物たちにクリスマスのプレゼント☆

◆ソウにクリスマスケーキのプレゼント

12月23日(金祝)・24日(土)・25日(日) 各日 11:45~

飼育スタッフお手製のケーキをどんなふう食べるかな?

◆チンパンジーにクリスマスケーキのプレゼント

12月24日(土) 12:15~

飼育スタッフからチンパンジーへ野菜や果物などを入れたものをプレゼント!

☆以下は、来園者が手作ります。参加者を募集!
(ヤギは申込不要)

◆キツネザルにクリスマスのプレゼントをしよう

12月23日(金祝) 13:00~15:00 ※4組限定

◆ウサギとモルモットにごちそうをプレゼント

12月24日(土) 15:00~16:00 ※5組限定

上記2イベントとも、12/3から電話にて事前申込受付
(先着順に受け付け、定員に達し次第受付終了)

◆ヤギにクリスマスツリーのプレゼント

12月25日(日) 10:30~飾り付け / 15:30~プレゼント



師走といえ、今日は何と穏やかな小春日和。予定は無理矢理やり繰りして、到津に出掛けることにしましょう。

北口から入園し、芝生広場に直行すると幼子たちがパパ・ママ・おじいちゃん・おばあちゃんと、陽を浴びてのんびり過ごしています。そして青空目指して高くそびえる紅葉したアメリカフウ(マンサク科)がみんなを見守っているのです。その名の通りアメリカ大陸から大正時代末期にやって来て、街路樹・公園樹として愛され続け、今に至っているとされています。市内でも小倉南区の10号線の長く続く街路樹は紅・紅紫・濃緑と見事なグラデーションを見せてくれて、エキゾチックな魅力にあふれる風景ですね。それから動物は葉の香りを嫌って食べない為、動物園ではよく植栽されるとの事。人間はわざわざ幹に傷をいれて樹液を採集し、そこから蘇合香(ソゴウコウ)として香料・薬用に使っているそうです。

美しく紅葉する葉は5~7裂し、カエデ科のイロハモミジ等に似る為、モミジバフウとも呼ばれています。よく見上げると、ピンポン玉位で棘のある球がぶら下がり、足元にも落ちています。手に取ると小さな穴がいくつも開いていて、ここから種子をばらまきます。クリスマスツリーのデコレーションに、お馴染みですね。この穴を利用して、熱帯魚水槽に入れれば、小エビの隠れ家にもなるそうです。

さてアメリカフウあればトウカエデ(カエデ科)もあります。管理棟へ向かって下る途中左手に見えてきました。これまた美しく紅葉した葉は浅く3つに分かれている為、サンカクカエデとも呼ばれる落葉高木。18世紀に中国南部から台湾を経て日本へ渡来し、盆栽にあるいは街路樹・公園樹に活用されてきました。幹がボロボロにはげてしまうトウカエデは、北九州では街路樹としてよく見かけられ、秋に刈り込まれる姿は風物詩の一つと感じます。

ところで、トウカエデによく似て葉が3裂し、俗にフウと呼ばれるタイワンフウ(マンサク科)別名サンカクバフウがあります。何だか頭がこんがらがってしまいますが、タイワンフウは、葉が互性・幹の表面は縦筋の割れ目。トウカエデは、葉が対性・幹は薄くはげてボロボロ。この二つが一番判りやすいようです。

トウカエデと道をはさんで向かい側、姿見の池には日本情緒たっぷりのイロハモミジの紅葉も見ることができて、満足満足の日でした。

文：花咲くおばさん

花 曆 師 走

森の仲間たち・とりてん

とりてん

早いもので、今年もあともう少しで終わりですね。申年が去り、来年はいよいよ酉年がやってきます。待ちに待った鳥が主役の1年です。

ということで、今年もやります干支展！今回は「とりてん」です！何だか美味しそうなネーミングですが（笑）

12月1日（木）からは、管理センター2階ロビーに、年賀状にもピッタリな鳥の衣装を着ての撮影コーナーが登場！3種類の衣装を用意していますので、気に入った鳥の衣装を着てください！大人の方が着ても大丈夫なように作っていますよ！

そして、1月からはとりてん第2部。どうして飛べるの？卵の中ってどうなっているの？などなど・・・鳥の魅力やヒミツをドドンッ！と紹介しちゃいます！日頃皆さんが疑問に思っていたことがここで解決するかも！？

そして、「とりてん」を見た後は是非、園内の鳥たちに会いに行ってみてください。いつもと鳥たちが違って見えてくるかもしれませんよ。こもれびの径では、毎日コジュケイが「チョットコーイ！」と呼んでいますよ。ウズラの「ご吉兆ー！」を聞けばいい事あるかも！？

新年は到津の森公園で、
鳥たちのトリコに
なっちゃってください！

飼育展示係 大槻 千菜津

